

あなたもお読みください
真実つたえ希望はこぶ

しんぶん 赤旗

日刊 1カ月 3,497円
日曜版1カ月 823円

手良民報

生活相談はお気軽に
電話 78-0943 (高橋)
08051428896 (大場美広)

(毎月赤旗読者に配達)

(民報のみは月100円)
発行 日本共産党・手良支部

今年の対象者26名

成人式行われる

手良地区の成人式は他地区より1日早い8月14日に手良公民館で行われ、式・祝う会に新成人24名が出席しました。

時に相談できる人を「20年の重みを自覚し家族、地域の皆さんに感謝を」などのあいさつがありました。市長のビデオメッセージもスクリーンに上映されました。成人者を代表して野口の蟹沢将夫さんが「育ててくれた手良地区に恩返ししていきたい。感謝を忘れずこれからも努力していく」とあいさつがありました。



成人代表あいさつ

今年の対象者は中坪5名、野口10名、下手良7名、八ツ手4名の26名。成人式では来賓の区長、市長、市の教育委員、地元市議員よりそれぞれ「地方創成が言われているが要はいかに人口を大きくしていくかである。結婚をして子供を産んで、手良のために皆さんの力を」

よしひろ通信

18

「アベ政治」が創り出した「恩恵」を活かそう

今や悪政の代名詞になりつつある「アベ政治」。何から何まで「オソマツ」の限りを尽くしている」と思えるならよいのですが、たまには批判ばかりではなく、もたらしてくる「恩恵」について一言。

先月二十九日(水)の朝七時から、ご当地、手良沢岡の交差点の四方を取り囲むように「手良九条の会」の皆さんを中心とした三十人近い人々が「戦争法案反対」のアピール行動を行いました。私の住

む高遠からも女性ばかり七人の八人が駆けつけました。前後に誘った方も「行くぞ」と一言。みんなフリがいい。と言つたか、黙っていられない。自分も何かしなっちゃ」と言つ思いが渦巻いている気がします。

習朝の新聞には、そのほんの一隅の様子が小さな写真と共に紹介されただけでしたが、手良が大領だった時代から数百年の歴史の中でこんなことがあったでしょうから時代の变化を感じさせる音が聞こえて来た気がします。

悪政に立ち向かい、平和と民主主義を守ろうとする人々の自発的な行動「アベ政治」

この国を再び戦争が出来る



36回目の盆野球

猛暑の中熱戦

第36回手良地区野球愛好者お盆大会は8月14日の午前中手良総合グラウンドで約80名が参加して行われました。昨年は開催直前に大雨が降り中止になりましたので2年振りとなります。この大会は長い伝統があり以前は手良体育協会が主催していましたが解散になり今は早起き野球のグループとナイターソフトボールのグループが中心になって行っています。高校生・中学生は1チーム3名の範囲で参加して良いということと今年には13歳から75歳までの7チームが参加しました。来賓の地元市議員よりは「若さいっぱい」の大会で元気をもらえろ。公民館の建設も進



始球式

夏休みおいで塾

今年もまた夏休み中の7月30・31日、8月2・3日に朝9時から4時30分まで手良公民館で小学生を対象に「夏休みおいで塾」が行われ前期は42人、後期は30人が参加しました。学習やいろいろな体験を通じて異学年の交流を図り仲間づくりのため社会教育委員、「食改」関係者、民生委員、公民館などの皆さんの協力と指導により行われています。高校生も4名がボランティアで参加、子どもたちの中に入って指導しました。

塾の最初に気持ちを落ち着かせるために20分位座禅を行います。午前中は地区ごとに交替でプールに行き、また自主的な学習をし、午後はおやつづくりや流しそうめんなどを行いました。

てらのもと

戦後70年の今年の夏は暑かった。政治も気候も。▼その中で若い人たちがへの期待は大きい。日本がアメリカの要請にのり外資で行って武力の行使を行うことが心配される「安全保障関連法案」(戦争法案)について母親たちとともに若い人たちの反対行動がだんだんと大きくなっていくのが報じられている▼手良の盆野球も36回目を迎えたようであるが暑い中若い人たちは元気がいい。久しぶりに故郷へ帰り友人や地域の人たちと交流があった若者もいたのだから▼今年の手良の成人式は対象者26人のうち24人も出席した。若者の無関心さが言われる中で嬉しいことである▼来賓の祝辞では結婚して子どもを産んで人口を増やし地域に貢献して欲しいというあいさつが多かった。勿論子どもを産むことも含めてその人の生き方を決めるのはその人自身でありそれは自由である。若い人たちの生活や勤務などを見ると年々きびしくなって簡単に結婚しろ、子どもも産めとは言えない状態もある▼しかし、地域の活性化のことを思えば大変であるが頑張っしてほしいというのが多くの人の願いでもある▼来年は参議院選挙もある。今度こそ戦争のない平和な安心して暮らせる社会になるように今から新しい選挙権をどう行使するか考えていたいただきたいと切に思うこの頃である。(T)

12月を目途に農業生産法人を設立

J A上伊那手良支所営農経済課の呼びかけで7月22日から7月24日にかけて4地区で農業法人設立の説明会が開催されました。

国の補助施策（タタ・畑作物の直接支払交付金・ナラシ・米・畑作物の収入減少影響緩和対策）の交付対象者が認定農業者や集落営農組織に限定される中、法人設立が迫られ開かれたものです。

7月24日の中坪公民館の説明会には十数名が参加しました。

現在ある手良営農組合（任意組合）が今年の12月を目途に、非公開の株式会社（農業生産法人）を設立し、株式会社発足後、諸状況を見て、手良営農組合は解散します。

会社の事業目的は農作物等の生産・加工・販売（商

品を含む）を行い、地域ぐるみで優良農地の維持・有効活用を目指し、また作業の効率化を進めます。

天体について 親子自然教室

手良公民館主催の親子自然教室は8月7日の夜行われ小学生低学年2名、高学年3名を含め親子8名が参加しました。

今回は天体観測でしたが予定の日が天気が悪くて変更になったのですが、この日も天気が悪く屋内の講堂で行いました。

講師は元小学校理科専科教諭の野口輝雄先生。

パソコンやスクリーンを使って、星は遙か遠くにあるので距離は光が1年間に通過する光年で測ることなどわかりやすく話されました。

星座に興味を持ってもらうために「さそり」や「オリオン」についても紹介がありました。

四力所を見学 四葉の集い

手良公民館の「四葉の集い」（中高年の会）は7月15日に行われ12名が参加しました。現在登録会員は14名です。

当日は長谷分杭峠のゼロ磁場、駒ヶ根のハッチョウトンボ、光前寺、養命酒工場を見学しました。

会員の交流や新しい発見もあり有意義な一時を過ごしました。



ハッチョウトンボ園

ハツ手の直売所

今年も

中山間地ハツ手第2集落（ハツ手北側地域）は今年も

猫好きに火がついたように、可愛くて可愛くてたまらない。

今日は何を食べるの、返事をしないのに眼に語りかけるのが楽しくて。

朝食の用意は大変だ。犬のクッキーと、猫のミートと自分の分と三種類つくることになった。

こうちゃんは鶏肉御飯、

ミニコはお魚がいらいらいがまだ好物は模索中、見当たらない。何でも良く食べる食いしん坊なんだ。

家の中で何時でも大きな声で話ができる。急にあたりの空気が動き出して明るい雰囲気につつまれ、さあ御飯にするかねえと呼びかける。

こんな些細な事に癒される

木曾の城山へ 里山へ登る会

「手良里山」登る会（城倉会長・会員32名）は7月25日に木曾福島駅の近くにある城山（じょうやま・1280.9m）に登りました。

参加者は子ども2人を合わせて26名が6台の車に分乗して行きました。

登山道は遊歩道になっているので歩きやすく、自然林の中を歩きますので、町に近いのに深山の感じます。大小の樹木のある登山道をしばらく行くと「権現滝」の大きな滝が見えました。そこから目的地の紅葉ヶ丘までは笹ゆりのなだらかな林道を歩きました。

帰りに江戸時代を通して木曾を治めた山村代官の屋敷を見学し、赤坂温泉で入浴しました。

健康チェックの集い

中坪老人クラブ

お盆に向けて8月11日の午前中7時から11時まで福治屋さん前広場で恒例の直売所を開設し約50人の利用者がありました。

道路脇に直売所の幟も立てられ賑やかに行われました。

今までは野菜なども販売していましたが今年は何処でも作っている今年のエゾギク、小菊など盆用の花を主として販売しました。

暑い日だったので何時もより少ない5名の参加で行いました。

上伊那医療生協の職員と組合員がボランティアで支援し、血圧測定、BBC（内脂肪など）による検査、骨密度検査、尿チェックなどを行いました。

中坪老人クラブは報奨金を



健康チェック

中坪公民館で絵手紙教室やっています



向山智恵子

連絡先 高橋 7810943

白線引きとカーブミラーの清掃作業

手良交通安全協

過日六月七日（日）に手良交通安全協が年間事業計画に基づき、手良全域の道路の停止線の白線引きとカーブミラーの清掃作業が晴天の中、各区四人の理事が出席して行われました。

安協の皆様も今年は二年目となり、昨年比べて、設置されている位置も頭の中に入っているようで、効率よくやっているように見えました。

例えばカーブミラーだけでも設置台数の多い区では約八十台もあるようです。それを背丈より高い所に設置されているものを住民の交通安全を願いつつ汗を拭いながらやっています。

ある人は「ミラーがきれいになり、それが交通安全に役立てばありがたい」と言っていました。

大変の作業ですが、今後も継続的にやっていくことが大切だと感じました。

安協の皆様毎年ありがとうございます。

俳句 薔薇芽吹く 高橋 忠

石に立つ春の河原の鳥孤独
薔薇芽吹き反原発のブキは行く
如月の夜は何処かで笛の音
戦争の体験を聞く吹雪の日
山茶花や舌先にチフィン入れ終へる



（おねがい）
身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思えます。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。
七八一〇九四三 高橋

生活雑記

137

相棒

小松利江

家の中に話し相手がいると言っ暮して本当に楽しい。返事はしなくても可愛い真ん丸い眼差しが喜怒哀楽を表現してくれる。